

キャラクター名
カルミア・ラティブォリア

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ オルクス	ワークス	レネゲイドビーイングB	カヴァー	高校生
オプション	ウロボロス	年齢		性別	♀
覚醒	死	衝動	吸血	初期侵食率	39%
出自	最後の希望	経験	勧誘	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	0	1			1	行動値	26
感覚	4	1	3	4		12	(非装備時)	26
精神	2	0	0			2	戦闘移動	31
社会	2	0	1			3	全力移動	62

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC	9		交渉		
回避			知覚	2		意志	1		調達		
運転:			芸術: 園芸	1		知識: アンティーク	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
荊の鳥籠	RC	12r+17		12		邪毒2
	RC	12r+17				
	RC	12r+17				
	RC	12r+19		16		邪毒3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
使用人	
ペアリング	
組紐飾	
遊園地の子チケット	
プラネタリウム	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイマス	消費
D: 古代種	P	N		
D: 傍らに立つ影	P	N		
D: 転生者	P	N		
陽彩ちゃん	P 友情	N 疎外感		
海斗くん	P 友情	N 疎外感		
わんこしづちよ	P 尊敬	N 不安		
東さん	P 信頼	N 不安		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1		常時	至近	自身	自動	RB	
効果:	衝動判定D+LV個。							
オリジン:プラント	4	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果:	【感覚】判定達成値+LVx2							
コンセ(オルクス)	2	2	メジャー	至近	自身	自動		
効果:	組合せC値-LV							
茨の輪(転生者)	2	2	メジャー	視界	-	RC	D100	
効果:	命中時対象の判定D-LV							
棘の縛め ★	1	1	メジャー	視界	単体	RC		
効果:	硬直付与攻撃力+LV(6/7)							
赤:細胞侵蝕 ★	2	5	メジャー	視界	単体	RC		
効果:	命中時重圧と邪毒ラウ=LV							
光の手 ★	1	2	メジャー	-	-	RC		
効果:	【感覚】で判定							
要の陣形	2	3	メジャー	視界	3体	シフトロム		
効果:	組合せEFの対象を三体に							
塞がれた世界	2	3	メジャー	-	-	シフトロム		
効果:	攻撃力+LVx3(6/9)							
雨粒の矢	4	3	メジャー	視界	シーン選択	RC		
効果:	コバ不可攻撃力+LVx2							
呪われし者の印(影)	1	3	オート	至近	自身	自動	D0イ	
効果:	判定時ダメージ減少効果を無効化							
インペリアルガード	2	3	オート	至近	自身	自動	D0イ	
効果:	ダメージ適用前。HPダメージ-2D							
イーザーフェイカー ★			常時	-	自身	自動		
効果:	彼の遺志がわたしを保とうとする。							

「わたし、グラナートの分も生きます。…さみしいけど、わたし、ひとりじゃないから…」

日本への移住を機に高校生となったレネゲイドビーイング。蓄薇の花が好きで、住処である洋館でも『シークレット』や『ティアドロップ』といった蓄薇を育てている。本体は亡き少女の記憶と洋館に咲く白蓄薇が融合したものの。

とある事件をきっかけに長年連れ添った大切な従者を失った。しかし同時に得難い絆を結んだことで、彼のようににはならず済んだ。今後はUGNに所属して、自分たちのような哀しい思いをする人が出ないよう尽力するつもりでいる。

※第二話現在では、カルミアは自身のレネゲイドの特性(古代種)について無自覚である。

メイドの名前はメグとペロニカ。(マーガレットとペロニカが原型のRB)

《インペリアルガード》在りし日の従者の姿をした影が棘を纏い主を守る。《傍らの影法師》操るつもりがないのに、時折勝手に姿を現すことがある。《傍らに立つ影》緊急時は『彼』がカルミアの代わりに戦うことがある。

生きることが償いになるのなら、わたしはきっと、たくさん贖いの旅が出来る。いつかひとりになったその先も、わたしはずっと、贖罪のための歩み続ける。

